

日本海未来ウォーク十周年



会長 理事員 副実行委員 法人代表 未来ウォーク NPO 未来実行

遠藤 公章

日本海未来ウォークは、様々な分野、職種から多くの有志が集まり、鳥取県中部をもっと元気にしたいとの思いから、二〇〇一年に第一

回を開催し、今年で十周年を迎えました。

本大会の特色は学生を中心とする地域住民の方々とのボランティアによる運営です。

大会開催にあたり、ボランティアには事前に地域の歴史・文化、自然等の魅力を再発見する勉強会を行って、大会参加者の万全な受け入れ体制を整えています。会場内外において学生の清々しい対応、コース上での地域住民の方によるウォーカーへの特色あるおもてなしなど、参加者からも高い評価をいただ

いております。

二〇〇四年、韓国の大韓ウォーキング連盟との交流が始まり年々関係が深まりました。本大会では、世界初二カ国共同開催による「日韓ピースウォーキング」を開催しました。数日間にわたり二国間二百五十kmに及ぶコースで、参加したウォーカーも見ると感動的な一大イベントとなり、国際交流としても広がっています。

鳥取県と昨年共同開催した「ウ

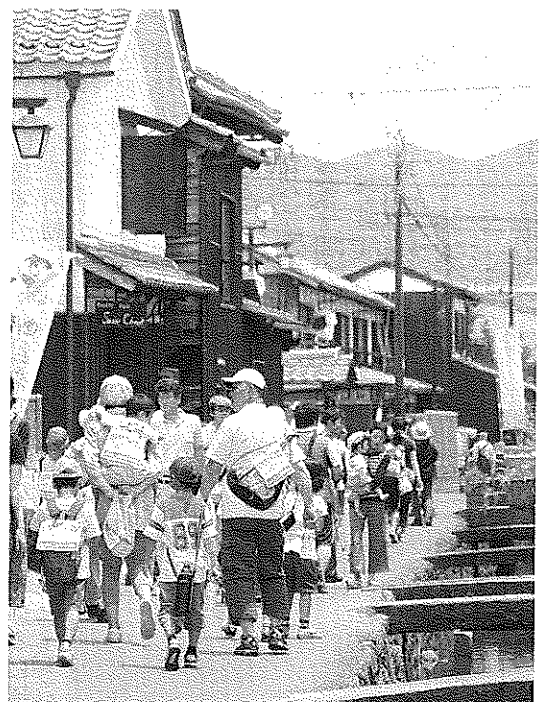
ウォーキング

立県とつとを目指して「フォーラムでは、鳥取県知事と日本ウォーキング協会会長、大韓ウォーキング連盟理事長の鼎

談のなかで、ウォーキングがもたらす県民への利益について確認し、鳥取県としてウォーキング立県に向けたスタートを切りました。鳥取県と共に着実に事業（十九のまちを歩こう事業等）を展開しています。

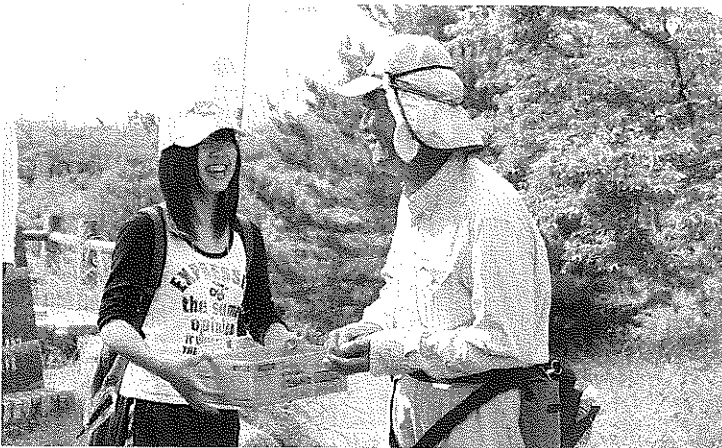
また、車社会をはじめとする便利な機械文明の発達で、運動不足になった子どもの足の成長発育に影響を及ぼしていることに危機感を抱き、鳥取県中部医師会の協力の下、

子どもの「歩育」についても取り組んでいます。十回大会では「歩育コース」を新設し、子どもたち及び保護者へ「歩育」の取り組みを広げます。



赤瓦周辺を歩くウォーカーたち

ボランティアとの交流



日本海未来ウォークも回数を重ねるごとに新たな広がりへと展開が始まり、ウォーキングの奥深さを実感します。私達はウォーキングを通して、

法人理念「地域と子どもの未来を創造」のもと、健康、観光、環境、教育、交流の五つの分野（5K）において地域に貢献し、「ウォーキング立県」として新たな地域の活力を生み出し、鳥取県を元気にしたいと考えております。

実行委員会も十回を節目に初心に戻り、新たな気持ちで十一回の大会を迎えたいと思います。

(倉吉市福庭町)